

イースター



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 28・1~10
主イエスの復活
ここにはおられません。前から
言っておられたとおり、よみがえ
られたのです。 マタイ 28・6

目標

復活のキリストによって失望や
恐れを喜びに変えていただく。

4月4日(日)

聖書
聖句

マタイ 28・6
ここにはおられません。前から言
っておられたとおり、よみがえられた
のです。 6節

イースターおめでとう！

イエス様が生まれたこと、十字架で死なれた
ことも大切だけど、イエス様がよみがえられた
この日こそ、とても大切だね。だって、イエス
様がよみがえらなかつたら、「死」という問題に
だれも勝てなかつたのだから！

イエス様は、よみがえりによって、人はただ
死ぬために生まれてくるものでなく、もう一度
生きることができることを見せてくれたよ！

イエス様のよみがえり、ばんざい！ イエス
様、ありがとう！

祈り

天のお父様、死にも勝ってくださったイ
エス様のよみがえりを心からありがと
うございます！

4月5日(月)

聖書
聖句

マタイ 28・1
マグダラのマリアともう一人のマ
リアが墓を見に行った。 1節

イエス様のお墓には大きな大きな石のふた、
そして、その前にはローマの兵士が立って番を
していました。行っても会えないだけでなく、
捕まるかもしれません。それでも、勇気をだし
て出かけた女の人たちがいたのです。

この時代の女の人たちは、勉強も仕事もゆるさ
れず、弱く力のない立場でした。

でも、弱くてもイエス様を愛する気もちはと
ても強かったね。イエス様なしでは生きていけ
ない、そんな人たちに、神様はふしぎで、とて
も大きなことを体験させてくださるのです。

祈り

天のお父様、この弱いわたしも、あなた
がふしぎで大きなことを体験させてく
ださると信じます。

4月6日(火)

聖書
聖句

マタイ 28・2~4
主の使いが天から降りて来て石を
わきに転がし、その上に座ったから
である。 2節

イエス様のお墓のふたや番兵は、外からも中
からも出入りさせないためのものでした。

でもどうでしょう。番兵は死人のようになり、
ふたはあつというまに開いたよね。人がなんと
かして神様のなさることを止めようとしても、
なんの意味もないのです。

あなたのまわりにも、イエス様に会うことや、
神様のすばらしさが広まることを止めようと
する人がいるかもしれません。でも、神様のわ
ざは何よりも大きく、何よりも強いのです。

祈り

天のお父様、人のすることは、あなたの
前ではちっぽけなものです。ただ、あな
たのわざだけがなることを信じます。

4月7日(水)

聖書
聖句

マタイ 28・3~5

恐れることはありません。 5節

信仰をなくしそうなとき、勇気がないとき、弱さを感じるとき、「死」がこわいとき…神様は「恐れるな」と言ってくくださるお方です。

神様を信じていない人は、人はがんばることで恐れなくてもいい人になれると考えます。でも、どんなにがんばっても「死」に勝つことはできず、恐れるのです。

わたしたちが恐れなくていいのは、「死」の力にも勝たせてくださる神様を信じて、希望を持てるからだね!

イエス様のよみがえりを信じて希望を持ち、恐れなくて生きていけるあなたでいてくださいいね。

いの祈り 天のお父様、死ものりこえさせてくださるあなたの力を信じ、恐れなくて生きていきます。

4月8日(木)

聖書
聖句

マタイ 28・5~6

さあ、納められていた場所を見なさい。 6節

マリヤたちがイエス様のところに行ったのは、よみがえったイエス様ではなく、死んだイエス様を見るためでした。

イエス様は何度もよみがえりのことをお弟子さんたちに伝えていたのにね。人は「見る」ことでしか信じられない、そんな弱さがあるね。

「見て」わかるようにと、天の使いは石のふたを開けてくれました。

神様も、いつもわたしたちに分かるように、大きな大きな石のふたがしてあるところ、あなたの「心のふた」までもとりのぞいて「さあ、ごらん」と教えてくださるよ。

いの祈り 天のお父様、見ることでしか信じなかったわたしの心のふたもとりのぞいてくださりありがとうございます。

4月9日(金)

聖書
聖句

マタイ 28・7~9

彼女たちは恐ろしくはあったが大いに喜んで、急いで墓から立ち去り、弟子たちに知らせようと走って行った。 8節

よみがえりのイエス様のことを体験しても、「うそみたい」と思っちゃう人もいたみたい。でも、そんな人によみがえりのイエス様が本当にあらわれてくださったから、命をかけてこのことを知らせ、全世界にイエス様のことが広まってきたんだね。

マリヤたちも走って伝えに行き、イエス様に出会ったよ!

イエス様だけが本当の救い主、イエス様だけが礼拝を受けるのにふさわしいお方だね!

いの祈り 天のお父様、イエス様だけが、礼拝するべきわたしの救い主です。

4月10日(土)

聖書
聖句

マタイ 28・10

行って、わたしの兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えます。 10節

そういえばイエス様のお弟子さんたちはどうしちゃったんだっけ?

じつはイエス様が捕まったとき、お弟子さんたちは恐ろしくなり、逃げてしまったんだ。信じて従ってきたはずだったのに…。

でもね、イエス様はそんなお弟子さんたちを「裏切り者」「いくじなし」とは言わず、「兄弟たち」と言っておられるよ。

人の、イエス様への態度が変わったとしてもイエス様の態度は変わらず、人を愛しつづけ、出会い、はげましてくださるんだね!

いの祈り 天のお父様、すぐに態度の変わるわたしにも、変わらないイエス様の愛があることを感謝します。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 28・16～20
 ともにおられるとの約束
 見よ。わたしは世の終わりまで、
 いつもあなたがたとともにいま
 す。 マタイ 28・20
 ともにいてくださるとの約束を
 信じ、主を証しする者となる。

目標

4月11日(日)

聖書
聖句

マタイ 28・16～20
 見よ。わたしは世の終わりまで、い
 つもあなたがたとともにいます。20節

進級式や入学式から少したちましたね。ど
 んな毎日だったでしょう？ 復活のイエス様と
 いっしょだから大丈夫だったでしょう？ 今日
 も力強いイエス様のみ言葉の約束をにぎって、
 新しい一週間を始めましょう。イエス様は、
 「天においても地においても、すべての権威が
 与えられています」お方。そう、全宇宙で一番
 強いお方なのです！ だって、死の力を打ち破
 られたのですから。そのお方が世の終わりまで、
 一日一日、すべての日、いっしょにいてくださ
 います。

いの祈り 天のお父様、復活されたイエス様が毎日
 ともにいてくださり感謝です。イエス様
 のことを伝えていきますように。

4月12日(月)

聖書
聖句

マタイ 1・18～23
 見よ、処女が身ごもっている。そし
 て男の子を産む。その名はインマヌ
 エルと呼ばれる。 23節

マタイはその福音書を、「神様がともにおら
 れる」で始め、「ともにおられる」で終わって
 います。その中にも「ともにおられる」のメッセ
 ージを入れました。イエス様のお名前がイザヤの
 預言では『インマヌエル』と記されています。
 これはヘブル語で、訳すと「神が私たちとと
 もにおられる。」という意味なのです。そもそ
 もイエス様ご自身が神様であって人となられ
 た、神とともにいますお方。そして、その神様が
 私たちとともにいてくださるといふ感謝な
 名前です。

いの祈り 天のお父様、インマヌエルというお名前の
 救い主イエス様が、いつもどんな時もとも
 にいてくださってうれしいです。

4月13日(火)

聖書
聖句

マタイ 18・15～20
 二人か三人がわたしの名において集
 まっているところには、わたしもその
 中にいるのです。 20節

わたしたちがお祈りできるって、すごい事
 ですね。二人がどんな願い事についても地上で心
 を合わせてお祈りしたら、天にいますイエス様
 の父なる神様がそれをかなえてくださるとい
 うのです。そして、二人でも三人でもイエス様
 のお名前によって集まっている所には、「わたし
 もその中にいるよ」とイエス様がおっしゃっ
 ています。本気で祈りしてみませんか。だれか
 と集まるなら、イエス様もそこにいてくださ
 います。きよい集まり！ いいですね。

いの祈り 天のお父様、二人でも三人でもイエス様
 のみ名で集まるなら、インマヌエルの主
 がその中にいてくださり、感謝です。

4月14日(水)



マタイ 28・16~20

見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

20節

日曜日に読んだのと同じ聖書の個所で、同じ暗唱聖句です。覚えていますか？ もう見ないで言えますか？ マタイはこのようにして、最後にも「わたしはともにいる」とインマヌエルでしめくくっています。特にどんな時かと言うと、「あらゆる国の人々を弟子としなさい」「バプテスマを授け」とあるように、インマヌエルの主の福音を宣べ伝える時です。お友だちにイエス様のこと、教会のことを話すのは勇気があるよね。そう、その時！ とともにいてくださるのです。

いの祈り

天のお父様、すばらしいイエス様を伝えようとする時、特に「わたしはともにいる」とのお約束で励まされます。

4月15日(木)



マルコ 16・14~18

全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。 15節

オー！ 復活のイエス様からの、ものすごいご命令だなあって思いませんか？ 全世界に出て行きなさい、すべての造られたものに、イエス様の十字架と復活による救いの福音を宣べ伝えなさいというものです。なぜって、世界中の人が救われなければならないからです。日本人だけでなく、全世界のどんな国の人でもあります。だからすべての造られた人に伝えなければなりません。すぐ隣りの人もそうです。お家の人もです。将来宣教師になっていく人もあるかもね。

いの祈り

天のお父様、造られたすべての人、全世界の人が必要な福音を、わたしも信じられて感謝です。伝える人にならせてください。

4月16日(金)



マルコ 16・19~20

主は彼らとともに働き、みことばを、それに伴うしをもつて、確かなものとされた。 20節

イエス様は、「行きなさい」と言われるだけではないことが、ここでわかりますね。弟子たちは言われたとおりに出て行って、いろんな所で、どんどん福音を宣べ伝えました。使徒の働きにも書いてあるし、多くの宣教師物語を読むとわかります。その時、「主は彼らとともに働き」と書いてあるとおりに、たしかに生きておられる復活のイエス様が、弟子たち、宣教師たちとともに働いてくださって、多くの実が結ばれてきたのです。今も主は働かれます。

いの祈り

天のお父様、今や全世界にいろんな形で福音が伝えられていて驚きです。わたしも、小さくても伝えさせてください。

4月17日(土)



テモテへの手紙 第二 4・1~8

みことばを宣べ伝えなさい。 2節

大迫害者サウロ、そのサウロが復活のイエス様と出会って、とらえられて大伝道者パウロに、見事、変身！ イエス様の愛にパンパンに満たされて、遠く広く、ヨーロッパにまで福音を伝えました。命がけの3回の伝道旅行でも復活のイエス様がいつもパウロとともにおられました。

地上のお仕事もう終わりそうと、愛弟子テモテに最後のお手紙を書きました。「みことばを宣べ伝えなさい」と。みことばとともに聖霊が働いてくださいます。みことばカードを配りましょうか。

いの祈り

天のお父様、すべての人が必要なのは命のみ言葉です。お祈りしてカードを人々に配ります。祝福して用いてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 3・15～22
イエスの受洗
あなたはわたしの愛する子。わたしはあなたを喜ぶ。

ルカ 3・22

目標

神が遣わされた御子イエス・キリストを信じて従う。

4月18日（日）

聖書
聖句

ルカ 3・22

あなたはわたしの愛する子。わたしはあなたを喜ぶ。 22節

神様の愛をひとりじめできるほどに愛されていたイエス様。でもね、「あなたはわたしの愛する子」という神様の言葉は、あなたへの言葉でもあるんだよ。

それは、人が神様からうけるはずの罰を、イエス様が代わりに受けてくださったから。

愛されなくて当たり前の人間が神様に愛されるために、イエス様が十字架の上で神様に捨てられたから。あなたはこれを信じますか？

あなたはそれほどまでに、神様に愛されているんだね。神様、ありがとう！ イエス様、ありがとう！

いのちの祈り

天のお父様、イエス様を十字架につけてまで、わたしを愛してくださったことを感謝します。

4月19日（月）

聖書
聖句

ルカ 3・15～16

人々はキリストを待ち望んでいた
ので… 15節

この時代のユダヤの国は、ローマという大きな国に支配されていました。ユダヤ人たちは、この苦しい支配から解放してくれる、力のある救い主を待ち望んでいました。神様は、聖書に予言されていたとおりに、イエス様を人々のために与えられました。でもそれを理解できる人はそんなにたくさんはなかったのです。

どの時代もみんな、自分の理想どおりの王様、救い主を求めます。そして、理想とちがうと感じたらかんたんに捨ててしまうのです。

あなたは神様がなぜイエス様をあなたのためにくださったのか、心から理解し、受け入れていますか？

いのちの祈り

天のお父様、いつまでもあなたを信じる心を持ち続けられますように。

4月20日（火）

聖書
聖句

ルカ 3・16

その方は聖霊と火で、あなたがたにバプテスマを授けられます。 16節

ヨハネもこの時代、神様のために力強く働いた人でした。たくさんの方が、罪を悔い改めて、神様にしっかり心に向けるための洗礼を受けたのです。けれども、ヨハネは、自分は本当の救い主の前ではどれい以下だと言うのです。

そう、本当の救い主は、神様に心に向けた人には聖霊を満たすことができるお方！

聖霊に満たされたとき、人はイエス様の力でいっぱいになって、神様のために喜んで働く人になるのです。あなたもね！

いのちの祈り

天のお父様、わたしもイエス様の力でいっぱいになって、あなたのために喜んで働けますように。

4月21日(水)

聖書
聖句

ルカ3・17

麦を集めて倉に納められます。そして、穀を消えない火で焼き尽くされます。 17節

神様はね、イエス様にしかできないことを、教えてくれているよ。

それは天国のこと！人はだれもがこの人生を楽しんで生き、人生が終わったあとも楽に天国に行けると思いたいのです。でもね、天国のことは聖書にしか書いていないこと、自分の方でなくイエス様を救い主として信じる人だけがに行けること、それははっきりとしたことです。

天国に行きたいと思っている人はたくさんいても、イエス様を知らない人がほとんどでしょうね。そんな人を教会にさそってあげられるあなたでいてくださいね。

祈り

天のお父様、みんなが聖書にある天国のことを知ることができますように。

4月22日(木)

聖書
聖句

ルカ3・18

ヨハネは、ほかに多くのおおのこを勧めながら、人々に福音を伝えた。 18節

何か一つのことを深く知れば知るほど、そのことに詳しくなって、説明することができるようになるでしょ？ きっとヨハネも、イエス様のことを深く知っていて、また聖書に予言されている救い主だということもよくわかっていたんだね！

イエス様をだれかに教えてあげたいとき、福音のこと、よく知っておきたいね！ それは、イエス様が人の罪の身代りに十字架についたこと。死んで葬られたこと。よみがえって天に昇り、今も生きておられ、聖霊によってわたしたちと一つしよにいてくださることだよ！

祈り

天のお父様、もっと深くイエス様と、聖書のことを理解させてください。

4月23日(金)

聖書
聖句

ルカ3・19～20

すべての悪事にもう一つ悪事を加え、ヨハネを牢に閉じ込めた。 20節

自分のしている悪いことを注意されたとき、人はどんな態度をとるでしょう？ 反省するかな？ それとも逆ギレしちゃうかな？

ヘロデ王は、まるで自分は悪くないどころか、悪いのはおまえのせいだと言わんばかりの態度をとった人でした。

悔い改めの人生というのは、人のせいにして生きることでも、自分の人生をざんねんがって生きることでもなく、生き方を神様に喜ばれるように変えていくこと！

あなたはどうでしょうか？

祈り

天のお父様、人から注意されるようなことがあったら、すなおに自分のしたことを変えていけますように。

4月24日(土)

聖書
聖句

ルカ3・21～22

イエスもバプテスマを受けられた。そして祈っておられると、天が開け、聖霊が鳩のような形をして、イエスの上に降って来られた。 21～22節

神様に自分から近づくことなんてできない罪深い人間のために来られ、「あなたのそばにいますよ」とイエス様の生き方は教えてくれます。そして、そばにいてくださるどころか、その命をあなたのために捨ててくださったのです。

バプテスマを受けること、聖霊を受けること、神様を愛すること、お祈りすること、赦すこと、だれかのそばにいて助けること、人のために生きること…イエス様はあなたにもなってほしいと願われているんだよ。

祈り

天のお父様、イエス様がしてくれたことに、少しでもならえますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 4・1～13
荒野の誘惑
『人はパンだけで生きるのではない。』と書いてある。ルカ 4・4

目標

キリストにならい、み言葉に堅く立って誘惑を退ける。

4月25日(日)

聖書
聖句

ルカ 4・4
人はパンだけで生きるのではない。
4節

おなかがすいたときに「食べたいな」と感じたり、眠いとき「ねたいな」と思うように「～したい」という気持ちは、人が生きていくために必要なことだし、神様がみんなにくれたプレゼント！ でもね、「～したい」は正しく使わなかったり、コントロールできないと、食べすぎたり、寝すぎたり、遊びすぎたりして、健康に悪い影響を与えてしまうこともあるんだ。

イエス様はね、人が人らしく、しあわせに生きていくために、なくてはならないものは「神様の言葉」だと教えてくれたよ！

いのり

天のお父様、わたしが健康でしあわせに生きるために、あなたの言葉があることをありがとうございます。

4月26日(月)

聖書
聖句

ルカ 4・1～2
御霊によって荒野に導かれ、四十日間、悪魔の試みを受けられた。
1～2節

イエス様は神様のテストを受けました。神様のひとり子キリストとして、悪魔に勝てるかが、この時の問題だったんだね！

ちょうど学校でテストをしているときに、100点を取らせないようにだれかに邪魔されるように、神様の喜ばれることをしようとしている人に悪魔がやってきて邪魔をするときがあります。

でもね、そんなときは「これは誰からのテスト？」と考える必要があるね。そう、悪魔に勝ってこそ、神様に喜ばれるんだって！

いのり

天のお父様、悪魔に勝つことができるイエス様の信仰をください。イエス様からもっとたくさん学べますように。

4月27日(火)

聖書
聖句

ルカ 4・3～4
あなたが神の子なら、この石に、パンになるように命じなさい。 3節

イエス様は、弱った人を強くし、嵐をしずめる方のあるお方でした。だから、こんなことはかんたんに出来るはず。でもね、イエス様はその力を、自分のためには使いませんでした。

世界のさいしょにアダムとエバが、悪魔の誘惑で負けたときは、神様との約束よりも、自分たちの「～したい！」が大事に思えちゃったんだってね。まるでわたしたちのよう！

イエス様は悪魔に勝つことで、神様によって生きること、力は自分のためではなく神様のために使うものであることを、教えてくれたね！

いのり

天のお父様、自分の思い通りにでなく、あなたのために力を使うことを学べますように。

4月28日（水）

聖書
聖句

ルカ 4・5～7

もしあなたが私の前にひれ伏すなら、すべてがあなたのものとなる。
7節

人の心は、物で満たされることはなく、一度手に入れると次のもの、また次と、どんどん欲深くなるものです。でも、どんなお金持ちも、頭のいい人もそれで幸せ？ いえ、かえって、いつも心のどこかにポツカリと穴が空いているって。

なぜって、そういう「楽しみ」を悪魔はじょうずに使って、神様がくれるほんとうの幸せと引き換えにしているからなんだ。

神様しか与えられないものをたいせつにするとき、心の穴は消えて、心に本物の安心とよろこびがくることを知っていてください。

いの
祈り

天のお父様、あなたがくださる幸せをもっとたいせつにできますように。

4月29日（木）

聖書
聖句

ルカ 4・8

あなたの神である主を礼拝しなさい。主のみ仕えなさい。
8節

お友だちがいっぱいできる人生、お金がたくさん手に入る人生、有名でなにも不自由なんてないように見える人生…。もしそのようになったとしても、神様の愛を知らない人生、天国を知らない人生、たった100年の地上での幸せと引きかえに、永遠の命と天国という祝福を失ってしまう人生ならば、さびしいものだね。

だけど、多くの人は、神様よりもお金や地位や恋やほかのことしか見ようとしません。

あなたはどうですか？ なにをまず一番にし、たいせつにし、なにに仕える人生を生きたいですか？

いの
祈り

天のお父様、目の前の幸せよりも永遠のことや、あなたのことを思う人生を歩めますように。

4月30日（金）

聖書
聖句

ルカ 4・9～11

あなたが神の子なら、ここから下に身を投げなさい。
9節

聖書の言葉をおぼえるとき、どんなふうにおぼえますか？ いっぱいおぼえるのもたいせつなこと。でも、それがどんな意味で書かれたのかわからないなんてこと、あるよね！？

悪魔のずるいところは、聖書の言葉であっても、上手に使う人だまそうとすること！ あなたがまちがって聖書のことばを使うように、笑いながらそっと心にささやくのです。

だからこそ、ちゃんと理解すること、正しくおぼえること、聖霊に助けてもらうことが必要なんだね！

いの
祈り

天のお父様、勝手に聖書を理解するのではなく、どんな意味なのか理解できるように、助けてください。

5月1日（土）

聖書
聖句

ルカ 4・12～13

あなたの神である主を試みてはならない。
12節

「神様なんだからこれくらいのこと、わたしにはしてくれるよね！ ゆるしてくれるよね！」…ついにはとうとう「こうなったのは神様のせい！」なんてこと、ないかなあ？

神様はね、地上で人生をよりよく生きられるように、聖書の言葉から知恵を与え、人生の道や目的を示してくださるよ。でもね、選り取るのも、生きていくのも、あなた。

あなたの地上の生き方や考え方や、神様は見ておられるよ。イエス様が地上で悪魔と戦って勝ったように、十字架という目的まで歩き切ったように、あなたにも人生を力強く歩んでほしいと願われているんだよ。

いの
祈り

天のお父様、イエス様のように、力強く人生を歩みきる力をください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 5・1～11
弟子への招き
彼らは舟を陸に着けると、すべてを捨ててイエスに従った。

ルカ 5・11

目標

自分の無力と罪深さを覚え、キリストに従う。

5月2日(日)

聖書
聖句

ルカ 5・1～11

彼らは舟を陸に着けると、すべてを捨ててイエスに従った。 11節

漁師さんたちとは、何をする人たちでしょう？ハイ、お魚を捕る人たちです。その通り！ところが、このゲネサレ湖畔で漁をしていた漁師さんたちは夜通し働いたのに、何も、一匹の魚も捕れなかったのです。お手上げ状態でした。ところがイエス様のひとつ、「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい。」の通りにしたら…オーツ、大漁！「人間を捕る漁師になるのだ」とまたイエス様から言われて、漁師さんたちはイエス様に従いました。

いの祈り

天のお父様、漁師たちは何と素晴らしいお方に出会ったことでしょうか！わたしも彼らのように主に従います。

5月3日(月)

聖書
聖句

ルカ 5・1～2

漁師たちは舟から降りて網を洗っていた。 2節

「アーラ！いい所でお会いしましたねエ」って、人との出会いというのは決して自分で計画したり、計算して与えられるものではありませんね。イエス様のお話が聴きたくて聴きたくて、群衆、そう、たくさんの人々がイエス様のところに押し寄せてきたのでした。ついにゲネサレの湖畔まで！ちょうどそこに二そうの小舟があって、漁師たちは、舟からおりて網を洗っているところでした。イエス様との感動的な出会いが目の前だとは全然知らないで！

いの祈り

天のお父様、素晴らしい出会いはいつも普通の毎日の中で与えられるのがわかり、一日一日がとても楽しみです。

5月4日(火)

聖書
聖句

ルカ 5・3

シモンの舟に乗り、陸から少し漕ぎ出すようにお頼みになった。そして腰を下ろし、舟から群衆を教え始められた。 3節

二そうの小舟の持ち主のひとり、シモンでした。イエス様は、群衆が押し寄せて来るので、ついにその一そうの小舟、シモンの小舟に乗り込まれたのです。シモンは押し寄せる群衆にまず驚き、次にイエス様がシモンの舟に乗り込んでこられたのにも目を丸くしたでしょう。おまけに岸から少しこぎ出してほしいと頼まれて、またビックリだったでしょう。その中からイエス様はどんなにか大声でお話されたことでしょうか。一体何を話されたのでしょうかね!?

いの祈り

天のお父様、シモンにとっては、思いもかけない、突然のイエス様との出会いでした。イエス様との出会いを感謝します。

5月5日（水）



ルカ 5・4～5

でも、おことばですので、網を下ろしてみましょ。 5節

いよいよイエス様のお話も終わりとなりました。するとイエス様はシモンに向かって、「深みに漕ぎ出し、網を下ろして魚を捕りなさい」と言われます。シモンの頭の中は、「???」。イエス様は時々、小さなわたしたちの脳みそやハートではわからないと思われることを言われます。シモンはどう答えたでしょう? 「先生、漁師のわたしたちが夜通し働いたのに一匹も捕れなかったのですよ…でもあなたのお言葉ですから網をおろしてみます」と。

いの祈り 天のお父様、あなたやイエス様が言われることがわからない時も、あなたのお言葉を大切に思い従ってみます。

5月6日（木）



ルカ 5・6～7

そして、そのとおりにすると、おびただしい数の魚が入り、網が破れそうになった。 6節

「スゴイ!!」イエス様が言われたとおりにしたのです。するとどうでしょう! 「おびただしい数の魚」が網の中にとびこんできたではありませんか! 〈君たち、今までどこにいたの!〉って言いたいくらい。網が破れそうになりましたが、破れなかったのです。きっとシモンや他の漁師さんたちのハートも驚きと感激で破れそうになったかも! そうなのです。イエス様のお言葉をそのまま、まともに受け取って、信じて従うとこんな奇跡が起こるのです。

いの祈り 天のお父様、「そのとおりにする」とのみ言葉をモットーに、いつでもどこでもどんなことでも従います。

5月7日（金）



ルカ 5・8～9

主よ、私から離れてください。私は罪深い人間ですから。 8節

「HELP!(助けて!)」と、シモンは、魚があまりに多くて、一そうの小舟だけではとても岸まで運べないのでもう一そうの舟に来るよう頼みました。そうして二そうの舟にいっぱい引き上げて入れると舟が沈みそうになったのです! そんな超大漁でした! それをみたシモンの心の中に、自分がイエス様の前にどんなにか力のない弱い汚れた罪人なのかハッキリと示されたのです。イエス様のひざもとにひれ伏して告白しました。この心が、実は一番神様に喜ばれる心なのですね。

いの祈り 天のお父様、あなたのお言葉の力の前に、わたしも自分の罪深さを悟ってひれ伏し、ますます従わせてください。

5月8日（土）



ルカ 5・10～11

恐れることはない。今から後、あなたは人間を捕るようになるのです。10節

もちろん、そう思ったのはシモンだけではありませんでした。ゼバダイの二人の子ら、ヤコブとヨハネも同じでした。すると、イエス様はシモンに言われたのです、「恐れることはない。今から後、あなたは人間を捕るようになるのです。」と。『人間を捕る漁師』とは、罪深く、滅びゆくこの世の海の中から人々を救い出して、天の御国の民とする、この地上で最高最大の漁師です。シモンはもちろんのことヤコブもヨハネもすべてを捨てて主に従いました。

いの祈り 天のお父様、わたしも、「救うためにおいでくださったイエス様」に従って人々の救いのためのお手伝いをさせてください。

母の日



聖書
テーマ
暗唱聖句

ルカ 2・41～52
両親に仕えるイエス
それからイエスは一緒に下って
行き、ナザレに帰って両親に仕
えられた。 ルカ 2・51
両親を大切にし、助ける者とな
る。

目標

5月9日(日)

聖書
聖句

ルカ 2・41
さて、イエスの両親は、過越の祭りに毎年エルサレムに行っていた。

41節

今日は、母の日です。あなたを愛して育ててくださるお母さんに感謝しましょう。今日はとくべつに、お手伝いする！ という人もいるかな？ きっとよろこばれるでしょうね。いつもお母さんを大切に、お手伝いができたらすてきなことですね。…お父さんにもね！

イエス様にも、地上でのお父さん、お母さんがおられました。そう、ヨセフとマリヤです。今週は、子どもごろのイエス様と両親のお話。子どもでも、イエス様はやっぱりイエス様。わたしたちに、たくさんのお話を教えてください。

祈り 天のお父様、子どものイエス様のすがたから、みこころを教えてください。

5月10日(月)

聖書
聖句

ルカ 2・42～45
少年イエスはエルサレムにとどまっておられた。両親はそれに気づかずに、
43節

イエス様が12歳の時のこと。イエス様は両親といっしょに過越の祭りにでかけられました。祭りがおわって、ぜんいでゾロゾロ帰るはずが、イエス様はエルサレムに残られたのです。「あれ、イエスがいない！」と両親が気づいたのは一日歩いたあと。それはもう青くなってさがして、ついにエルサレムに引き返したのです。

イエス様はちゃんとわけがあって残られたんですが、こうやって両親に心配される経験があったんですね！ 心配してくれる親がいるって、神様の恵みです。しあわせなことですよ。

祈り 天のお父様、わたしのことを心配してくれるお父さん、お母さんはあなたからの恵みです。感謝します。

5月11日(火)

聖書
聖句

ルカ 2・46～47
聞いていた人たちはみな、イエスの知恵と答えに驚いていた。 47節

両親は、三日たって、やっとイエス様を見つけました！ イエス様がいたのは、なんと宮の中。イエス様はしんげんに聖書の教師たちの話をきいたり、しつもんしたりされていました。イエス様のあまりのかしこさに、教師も人々もびっくり！

12歳のイエス様にとって、いちばん関心があって、大切にされていたのは、神様のみことばでした。神様のみことばのすばらしさは、みことばをいちばん大切にしていくと、子どものときからハッキリ体験できます！

祈り 天のお父様、あなたのみことばのすばらしさを、もっと体験できるようにしてください。

5月12日（水）



ルカ 2・48

見なさい。お父さんも私も、心配してあなたを捜していたのです。

48節

「どうしてこんなことをしたの？」とイエス様のお母さん。でも、むりもありません。イエス様が見つかってホッとしたけれど、どんなに心配したことか…。胸がはりさけそうになりながら、必死で息子であるイエス様をさがしたのです。

神の子イエス様が、地上での両親から、あたたかい愛をうけておられたことがわかります。両親からたくさんの愛をうけて育てられる経験をされたんですね。ほんとうにすてきです。お母さんはね、あなたが大好きで、心配で、… ちょっと言いすぎちゃうものなんです。

祈り 天のお父様、わたしを愛して育ててくれる両親を心から感謝します。

5月13日（木）



ルカ 2・49～50

わたしが自分の父の家にいるのは当然であることを、ご存じなかったのですか。

49節

イエス様はここで、神様を「自分の父」と言われました。そのような言葉は、だれも言ったことがない言葉でした。少年イエス様は、ご自分が神の子で、使命があることをわかっておられたのです。神の宮にいることは、イエス様にとっては自然なことでした。両親は、イエス様が生まれるとき「神の子」だと聞いたはずだけど、頭の中でつながらなかったみたい。

子どものときに、しょうらいの神様からの使命をかんがえるって、すごく大切。もちろん、子どものときにも神様からあたえられている使命があります！

祈り 天のお父様、あなたがわたしにあたえておられる使命を、教えてください。

5月14日（金）



ルカ 2・51

それからイエスは一緒に下って行き、ナザレに帰って両親に仕えられた。

51節

両親は、イエス様が言われたことがわかりませんでした。しかし、イエス様はもんくを言いませんでした。両親といっしょに家に帰って、彼らに仕えられました。お父さん、お母さんに従って、大切にされたのです。

イエス様は神の子なのに、人間の両親に仕えられたのですから、わたしたちはなおさら、両親に仕えなければいけませんね。ぎゃくに、両親にわがまま言って仕えさせていないですか？ ちょっと反省… という子もいるかな？ 少年イエス様は、わたしたちの最高のお手本ですね。

祈り 天のお父様、イエス様のように、両親に仕える人にならせてください。

5月15日（土）



出エジプト 20・12

あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くようになるためである。

12節

今日のみことばは、神様からの大切な十の教えのひとつ。少年イエス様は、このみことばに従って、両親を大切にし、仕えられたのです。

神様は、お父さん、お母さんを大切にする人をよるこばれます。長く、ずっと祝福されます。ぎゃくに、両親にさからって祝福がなくなってしまう人は多いのです。あなたがイエス様のように両親を大切にして、祝福の人生をあゆんでほしい…。それが、神様の願いなのです。

祈り 天のお父様、わたしの両親を大切にしていきます。神様の祝福をうける人生にさせてください。



5月16日(日)

聖書
聖句

詩篇23・1
主は私の羊飼。／私は乏しいことがありません。 1節

みんな知ってるモコモコの羊さん。げんきで生きていくには飼い主さんのおせわがとてまたいせつなんだよ。

だって、毒草やきれいなお水を見分けられなくて死ぬこともあるし、草をさがしてまいごになるし、ひっくりかえったらもうおきあがれないし、こわがりで弱くてオオカミやクマに食べられることも！！でもね、羊さんのいいところは飼い主がだれかをちゃ～んと知っているとこ！

じつは人間も、神様のおせわがなければ死の道に向かってしまう羊とおんなじ！あなたは神様が飼い主だって、ちゃんと知ってますか？

いの祈り

天のお父様、あなたの守りとおせわがないと生きられない、羊と同じわたしです。今週もどうか助けてください。

聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇23・1～6
主はわたしの牧者
主は私の羊飼。／私は乏しいことがありません。

詩篇23・1

目標

主を羊飼いとして生きる生涯の幸を知る。

5月17日(月)

聖書
聖句

詩篇23・2
主は私を緑の牧場に伏させ／いこのみぎわに伴われます。 2節

羊飼いは、いつも羊の安全と安心のためにいっしょうけんめいはたらきます。

羊も、羊飼いが守ってくれて、虫やオオカミがない場所だとわかると草むらでごろごろできるし、羊飼いがキレイなお水があるとところにつれて行ってくれるから元気なんだね。

神様が「こっちだよ」「こうしなさい」と聖書の中からおしえるとき、それは、罪の草むらにねそべったり、悪の水をのんでしまわないように、守ってくれてるってことだよ！

いの祈り

天のお父様、わたしを守るためにくださるお言葉をありがとうございます。その言葉の方向にすすめますように。

5月18日(火)

聖書
聖句

詩篇23・3
主は私のたましいを生き返らせ／御名のゆえに私を義の道に導かれます。 3節

羊飼いは、自分の羊たちをとっても大事にします。たとえ一匹だって失いたくありません。ときには、まいごになったり、穴におちる羊もいますが、そんなときは自分もきけんだとわかっていてもいっしょうけんめい探すのです！

神様は、ときどき罪の穴におちてどうしようもないわたしたちのことも放っておかれませんか。なんとかして救いだし、神様のよろこぶ人生を生きてほしいと、イエス様を身代わりにしてまで魂を生き返らせるお方です。

いの祈り

天のお父様、なにがあってもわたしのことを救いたいとねがってくださること、そして身代わりのイエス様を感謝します。

5月19日(水)

聖書
聖句

詩篇23・4

たとえ 死の陰の谷を歩むとして
も／私はわざわいを恐れませ
ん。／あなたが ともにおられます
から。 4節

自分のいのち、たのしくてかんたんにゴール
までいけたらいいなあって思うよね？ だけど、
生きてるんだもの、そんな楽にはいかないね。
ときには、つらくかなしいこと、くるしいこと
もあるでしょう。でもわすれないで！

あなたの飼い主、神様はどんなときも、あな
たを見はなさず、見すてないこと！ 神様が
いつもいっしょにいてくれるからぜったいだ
いしょうぶ！ たとえ死がおそってきてもだよ！

いの
祈り

天のお父様、自分で死に勝つことはでき
ませんが、あなたはそんなときにもいっ
しょにいてくださるのですね。感謝しま
す！

5月20日(木)

聖書
聖句

詩篇23・4

あなたのむちとあなたの杖／それ
が私の慰めです。 4節

羊飼いは、いつも杖とむちを持って、羊と
いっしょに歩くんだって！ 羊をいじめるの？
いいえ！ 野原にはへびなど、あぶない生き物が
でるでしょう？ 羊飼いは、自分を守れない羊
のかわりに、むちや杖でたたかってくれるん
だ！ あと、道がくらくて不安なとき、杖でさわ
られると安心するんだって！

神様は、罪や悪魔に、自分の力で勝てない
わたしたちのことをよく知っておられるね。だ
からこそ、神様の力やたすけをもらって生き
ているんだよ！

いの
祈り

天のお父様、わたしが罪や悪魔から守ら
れているのは、あなたの杖とむちがある
からですね。あなたにもっとたよります
す！

5月21日(金)

聖書
聖句

詩篇23・5

私の敵をよそに あなたは私の前
に食卓を整え／頭に香油を注い
でくださいます。／私の杯は あ
ふれています。 5節

自分をおそってくる敵が目の前にいたら「ごは
んどころじゃないよ！」って思う？ でも、神様の
守りと強さはカンペキ！ だからこそ、「だいじ
ょうぶ！ 安心しなさい、あなたを祝福するよ！ わ
たしが力づけてあげよう！」と、敵がいるとき
にもあなたのおせわをできるのです。

敵がいなくなるわけではないけれど、神様にた
よりきっている人は強くいられるんだ！

神様の祝福があふれるあなたでいてね！

いの
祈り

天のお父様、たとえ敵が目の前にいても、
あなたによって強くいられますように。
あなたの祝福がわたしにもあふれま
すように！

5月22日(土)

聖書
聖句

詩篇23・6

私はいつまでも 主の家に住ま
います。 6節

罪においかけてられている人の人生のゴール
は、とても悲しいものです。その人たちは、自分
がどこに行くのかもわからないで生きている
のです。でも、神様を信じているあなたは、はっ
きりとした答えがあるよね？ あなたのゴール
は？

そう、天国！ たとえ、生きているときに成功
したように見えなくても、どんなときも神様の
恵みにおいかけてられているなら、天国という、
すばらしいゴールにたどりつくんだよ！ これ
からも神様といっしょに生きていこうね！

いの
祈り

天のお父様、わたしにも、天国という
はっきりしたゴールを見せてくださり
ありがとうございます。これからもあな
たといっしょに生きていきます。



5月23日(日)

聖書
聖句

ガラテヤ5・22~23

御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。

このようなものに反対する律法はありません。 22~23節

今日は、心の中をてんげんする日になったかな？ どうだろう？ 心にいつもイエス様がいる？ 家族や友達といっしょにいると似てくると、イエス様に似てきたかな？

聖霊のパワーをいっぱいもらって、神様もみんなも自分もなっとくする良い実を实らせたね。そのためには、イエス様からずっとはなれないことがたいせつだよ。

いの
祈り

天のお父様、イエス様からはなれることがないようにお守りください。あなたにも人にもよろこばれる御霊の実を实らせることができますように。

聖書
テーマ
暗唱聖句

ガラテヤ5・16~26

御霊の実
御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。

ガラテヤ5・22・23

目
標

御霊の実を豊かに結ぶ者となる。

5月24日(月)

聖書
聖句

ガラテヤ5・16

御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。 16節

わたしたちのまわりにはたくさんのルールがあるよね。学校のルール、スポーツのルール、自転車や自動車を運転するルール…。どれもわたしたちを安全に守ってくれるものです。

そして、聖書には、イエス様を信じて神様の子どもになったあなたへのルールがあるね。

そう。御霊によって歩くこと！これが、あなたを罪から守り、悪魔に勝ち、神様によろこばれるためにひつようなことなんだよ。

いの
祈り

天のお父様、罪や悪魔からわたしたちを守るために、「御霊によって歩く」という御霊のルールをくださりありがとうございます。

5月25日(火)

聖書
聖句

ガラテヤ5・16

御霊によって歩みなさい。 16節

聖書は、あなたに御霊を持っていなさい、ではなくて、御霊によって歩きなさいって言っているね。どういうことかわかるかな？

たいせつなプレゼントも、もったいなくてしまっているだけじゃなんの意味もないよね。それを使うとき、はじめてプレゼントのすばらしさがわかるんだ。

神様がくれる御霊はね、使えば使うほどあなたを変え、まわりの人を変える力があるんだ。罪に勝ち、神様によろこばれる人になることができるんだよ。御霊によって歩こう！

いの
祈り

天のお父様、持っているだけの御霊ではいけないことに気づかせてくださり、ありがとうございます。

5月26日(水)

聖書
聖句

ガラテヤ5・17~18
肉が望むことは御霊に逆らい、御霊が望むことは肉に逆らうからです。 17節

神様を信じている人の心の中にも、神様に喜ばれたい思いと、悪いことだとわかっているのに自分勝手にしたい思いとがあります。こんなとき、あなたならどっちをとる？

神様はね、一人では罪に勝てないあなたが罪をおかさなくてもいいように御霊をくれたよ。

あなたにひつようなのは「罪と戦うぞ」という気持ちを持っていることと、「御霊が罪に勝つための武器だ」って知っていることだね。御霊にたよろうね！

まだいい子でなかったわたしたちを丸ごと受け入れて、御霊によって成長させてくださる神様に感謝しようね！

祈り 天のお父様、御霊によって罪に勝たせてください。

5月27日(木)

聖書
聖句

ガラテヤ5・18
御霊によって導かれているなら、あなたがたは律法の下にはいません。 18節

御霊の人ってどんな人だろうね？

いつも自分でがんばってルールを守る人？
なんとか自分で努力して自分を良くしようと
している人？ いえいえ。ちがうみたいだよ。

ルールばかり気にしている人の心には喜びがなく、自分にだけじゃなくて、お友達にもきびしくなっちゃうね。

ルールにおさえつけられた人は、その心まで変えられないけれど、御霊の人の心には、いつもイエス様がいて、心から喜んでイエス様といっしょに生きてゆけるんだ。やった～！

祈り 天のお父様、わたしも自分でがんばって実を結ぶ人ではなくて、心から喜んでイエス様といっしょに生きていく御霊の人にしてください。

5月28日(金)

聖書
聖句

ガラテヤ5・19~21
このようなことをしている者たちは神の国を相続できません。 21節

神様を知ってイエス様に新しい命をもらったあなたは、もうちゃんと御霊をいただいているけれど、もしそうでなかったらどんな自分になっていたろう？

世界には、神様はいないと言ったり、別の神様を拝んだり、自分が神様であるかのような生き方をしている人もいっぱい。聖書はそれを「肉の人」と言い、そんな人生のままでは「神様の国に入ることがない」と宣言しています。

信じただけで御霊をもらって神様の国に向かえることは、なんて大きな恵みだろうね！

祈り 天のお父様、世界中の、あなたのことを知らない肉の人が、御霊の人に変えられていきますように。

5月29日(土)

聖書
聖句

ガラテヤ5・24
キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、情欲や欲望とともに十字架につけたのです。 24節

イエス様の十字架を心にうけ入れたときのこと、おぼえてるかな？ そのとき、自分の「してきた罪」がゆるされただけと思う？

本当はね、それだけじゃなくて、あなたが生まれたときから持っている罪の心もいっしょに処分しました！って言ってるんだ。

もし、悪魔が「それ、やっちゃいなよ」ってあなたの心にささやくときには言ってください。「わたしは罪をおかさない人につくりかえられました！」ってね！

祈り 天のお父様、イエス様の十字架の力を信じます！御霊の助けで、悪魔の誘惑にも勝たせてください！



聖書
テーマ
暗唱聖句

詩篇119・105～112
み言葉は光
あなたのみことばは 私の足の
ともしび／私の道の光です。

目標

詩篇119・105
み言葉の光に導かれて歩む。

5月30日(日)

聖書
聖句

詩篇119・105
あなたのみことばは 私の足の
ともしび／私の道の光です。 105節

あなたは、真っ暗でな～んにも見えないところを、歩いたことがありますか？ 電灯もなにもないところ。見えないっていうのはこわいです。どこを歩いたらいいのか、わからない。へんなところに落っこちたり、ぶつかってケガをするかもしれないので、歩けなくなるんです。まずは懐中電灯とか、光で足もとをてらさないで。歩く道が見えることがいちばん大切です。

わたしたちが歩いていく人生の足もと、道をてらしてくれる光があります。それは、神様のみ言葉。人生の道をてらして、正しい道と危険な道を教えてくれる光が、み言葉なんです。

いのちの祈り 天のお父様、わたしの人生の道をてらす、み言葉があたえられていることを感謝します。

5月31日(月)

聖書
聖句

詩篇119・106
私は誓い また それを果たします。
／あなたの義の定めを守ることを。 106節

真剣に！ 神様のみ言葉をまもって行っていることがわかる個所です。神様は、み言葉を聞く人をよるこばれます。聞いたことをまもり行う人のことを、さらによるこばれます！

わたしたちは、聞きっぱなしが多いのです。せっかく教会でみ言葉を聞いて、聖書日課でみ言葉を聞いているのに、生活のなかでぜんぜん行わない…。それじゃ、懐中電灯をもっているのにスイッチをいれないようなもの、真っ暗のまま。み言葉は真剣にまもって行ってこそ、ほんとうにてらしてくれる光だとわかるのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのみ言葉を、聞くだけでなく、真剣にまもり行う人にならせてください。

6月1日(火)

聖書
聖句

詩篇119・107
私はひどく苦しんでいます。／主よみことばのとおりに私を生かしてください。 107節

この詩篇の作者が、苦しくてなやんでいることがわかります。神様のみ言葉をまもって行っても、つらいことはおこります。でも、この作者は、「神様のみ言葉はぜったい正しいから、そのとおりになるはずですよ！ み言葉のとおりにわたしを助けてください！」と祈っているんです。

つらいことがあったときも、み言葉を信じつづけるか、じつは神様は見ておられます。信じつづける人を神様はよるこばれ、必ずこたえてくださいます。つらいままではおわらない！

いのちの祈り 天のお父様、つらいときでも、あなたのみ言葉を信じつづけられますように。こたえてくださる神様を体験したいです！

6月2日(水)



詩篇119・108

どうか 私の口から出る進んで献げるものを／受け入れてください。主よ。／あなたのさばきを私に教えてください。 108節

「口から出る進んで献げるもの」とは賛美です。苦しいことがつづく、もんくを言いたくなりますが…、この作者は神様を賛美しています！きっと神様は助けてくださる、だいじょうぶだ、って感謝の賛美をしているのです。

さらには、もっと神様の正しいみ言葉を教えてください、と祈っています。つらいときこそ、み言葉を知りたい！ というのです。つらいことがあるのはいやだけど、いつもよりずっと、み言葉が教えられるときでもあるのです。

いの祈り 天のお父様、つらいときも、あなたを賛美できますように。そして、み言葉をもっと知るチャンスにさせてください。

6月3日(木)



詩篇119・109～110

悪者どもは私に対して罿を設けました。／それでも私は あなたの戒めから迷い出ません。 110節

「私は いつもいのちがけです」、「悪者どもは私に対して罿を設けました」とは、神様のみ言葉からはなれていく危険のことを言っているのです。…み言葉を行って何になるんだろ？自分の思いどおりにするのが、いちばんしあわせじゃないの？と、悪魔はゆうわくして、迷わせます。このゆうわくに負けてしまう人はおおいのです！

悪魔に迷わされないように。み言葉からはなれるのは、道をてらす光をすてること。危険な道がわからなくなってしまいます！

いの祈り 天のお父様、み言葉からはなそうとする、悪魔のゆうわくに迷わされないよう、わたしをまもってください。

6月4日(金)



詩篇119・111

私はあなたのさとしを永遠に受け継ぎました。／これこそ 私の心の喜びです。 111節

「あなたのさとし」を「神様のみ言葉のやくそく」と読んでみることにします。この作者はつらい道をとおっていますが、「わたしは、永遠にかわらない、神様のみ言葉のやくそくを受けとったんだ！」と心からよろこんでいます。

神様は、イエス様をとおして、わたしたちに永遠の命をやくそくされました。これは、永遠にかわらない、神様のみ言葉のやくそくです。今、つらいことがあっても、わたしたちをまっしているのは永遠につづくしあわせなのです。

いの祈り 天のお父様、わたしがつらいことばかりに目をとめないで、永遠の命としあわせが与えられていることを、よろこんでいけますように。

6月5日(土)



詩篇119・105～112

私は あなたのおきてを行うことに心を傾けます。／いつまでも 終わりまでも。 112節

神様のみ言葉を、人生の最後の最後まで、まもりつづけていきます、という心からの信仰の言葉です。み言葉が必要なくなることは一生ありません。わたしたちは、天国に行くその時まで、み言葉の光で道をてらしていただくのです。

自分の考えだけで生きていったら、「こんなはずじゃなかった…」と、きっと言うでしょう。み言葉に心を傾けて聞き従うなら、あなたはぜったい「み言葉に従ってよかった！」と言います。それはもう、感動のれんぞくの人生！

いの祈り 天のお父様、わたしが人生の最後まで、み言葉に従えますように。み言葉のすばらしさをたくさん知る人生にしてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

箴言1・7～19
主を恐れることは知識のはじめ
主を恐れることは知識の初め。
箴言1・7
主を正しくおそれることを土台として人生を築く。

目標

6月6日(日)

聖書
聖句

箴言1・7
主を恐れることは知識の初め。

7節

学校では、あなたが将来なりたいものになれるようにと、たくさんのお話を教えます。でも、日本の学校では、この宇宙や地球、生き物や植物も、全部「ぐうぜんに生まれた」としか教えてくれません。じゃあ、わたしも…?

そんな世界に生まれたわたし、生きている意味はあるのかな。だったら、勉強もしないで、好き勝手に生きていけばいいじゃん。

きっとそうなるでしょう。でも、わたしを造り、知り、いつも見ておられ、正しく生きることを願われる神様がいますなら、あなたが見ていることも、学ぶことも、すごく意味のあるたいせつなものになるよね。それが知識のはじめ!

祈り

天のお父様、あなたが意味のある人生を歩ませてくださるただ一人のお方です。

6月7日(月)

聖書
聖句

箴言1・8～9
わが子よ、父の訓戒に聞き従え。母の教えを捨ててはならない。 8節

「学び」のスタートはあなたが生まれた場所から始まるように、神様はお決めになりました。

人生のさいしょは、お話しもできないし、お世話されないと生きてこれなかったんだもの。そして、自分の生まれた家で、生きていくこと、家の決まりごと、話し方などをまず学ぶんだね。そして、神様はそれをお父さんお母さんに任せただね。すごい責任!

おうちでの学びよりたいせつなのは、まず神様がいちばんで、それから両親ってこと。

神様がどう願われているか知りながら、おうちでよい「学び」をして知識を身につけよう!

祈り

天のお父様、家と両親を学ぶ場所になさったことをたいせつにします。

6月8日(火)

聖書
聖句

箴言1・10
罪人たちがあなたを惑わしても、それに応じてはならない。 10節

あなたに、何がよくて何が悪いことを教えてくれる人がいるのも、まだ子どものうちだけ。

いつかは家をはなれ、大人の見えないところへ出ていき、自分の考えでどう生きるかを決めていく日がきます。

そんなとき、悪魔は心にそっとささやき始め、「だれも見えていないじゃないか。あなたが得をすれば何をやってもいいよ」と誘うし、それに負ける人がとても多いのです。

だから、神様を知っているあなたは、その罪の問題に向かってはっきり「ダメ」「したがわらない!」と立ち向かう勇気を持つよう!

祈り

天のお父様、罪をおかすかもしれない出来事から、お守りください。ことわる勇気を持てますように。

6月9日(水)

聖書
聖句

箴言1・11~14

われわれはくじで分け合い、皆で一つの金入れを持とう。 14節

悲しいことに、だれかの心や体を傷つける人、だれかのお金をうばいながら生活している人、しかも、それを悪いことと感じずに生きている人というのは、今でもたくさんいます。

罪の世界に一步入ると、知らないうちに少しずつ、少しずつ、心がマヒして、大きな罪をおかすようになることを知ってください。

その罪の入り口は、あなたのすぐそばにあって、だれもが入ってしまうかもしれない。

でも、神様が知らない罪、放っておかれる罪はどこにもありません。神様の目を気にしよう。

いのちの祈り

天のお父様、あなたはすべて知っておられます。罪の入り口に入らないよう、おまもりください。

6月10日(木)

聖書
聖句

箴言1・15

彼らと一緒に道を歩いてはならない。彼らの通り道に、足を踏み入れはならない。 15節

学校にいれば、いろんなお友だちができるよね。そして、いろんなおさそいがあると思う。

友だちが集まって、人数が増えると、ちょっとしたいたずらや、一人じゃ勇気がでないけど、みんなでやればおもしろそうな「悪いこと」を考え始めることがあるんだよね。

悪いことにしたがわかないこともたいせつだけど、本当の友達なら「ストップ!だめ」と教えてあげてください。そして、どんな友だちを作るべきか、真剣に考えてみてください。

それはとてもたいせつなことです。

いのちの祈り

天のお父様、どんな友だちをもつか、本当の友だちが何か、立ち止まって考えられますように。

6月11日(金)

聖書
聖句

箴言1・16~18

彼らが待ち伏せしているのは自分の血を流すため、隠れ狙っているのは自らのたましい。 18節

なにか始める前に、それをやった後どうなるかを考えて行動していますか?

悪いことをする人は、自分がやった悪いことがいつか自分に返ってくることや、悪い行いはだれかにならざるみられている、ということを知らない、と聖書は教えてくれます。

だから、よく考えてみてください。あなたがしようとしていることは、だれかを傷つけることか喜ばせることか? 神様が喜ばれることか悲しまれることか? よく考え行動することが、あなたを守ることにつながるんだよ。

いのちの祈り

天のお父様、なにか行動をする前に、よく考えられる心を与えてください。あなたを喜ばせる生き方をできますように。

6月12日(土)

聖書
聖句

箴言1・19

不正な利得を貪る者の道はみな、このようなもの。それを得る者たちはたましいを取り去られる。 19節

強盗がお金や宝石をねらって盗んだあと、警察に追いかけてられ、銃で撃たれ...というニュースをよく見ます。お金がほしい、楽しんで生きたいと思っていたはずなのに、やってはいけないことをやってしまったために、最悪の結果になることがあるんだ。

聖書は、あなたに最悪の人生でなく、すばらしい人生を送ってほしいと、たくさんアドバイスをくれます。もし、どうしよう...と悩むときは、聖書から、人生の助けになる言葉ももらって、歩んでください。

いのちの祈り

天のお父様、最悪でなく、すばらしい人生のために、聖書からたくさんアドバイスをください。

はな ひ こども の ひ
花の日・子どもの日



聖書
テーマ
暗唱聖句

Ⅱコリント 2・12~17
キリストの香り
私たちを通してキリストを知る知識の香りを、いたるところで放ってくださいます。

目標

Ⅱコリント 2・14
キリストを知る知識の香りを放って生きる。

6月13日(日)

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・14
私たちを通してキリストを知る知識の香りを、いたるところで放ってくださいます。 14節

今日は花の日です！ お花はキレイなだけでなく、よい香りがしますよね。「おや、くんくん…」と、つい近づいてしまうし、何だかしあわせな気持ちになります。

今週のキーワードは、「キリストを知る知識の香り」。イエス様を知ることは、素晴らしい香りなんだよ、と香りにたとえているんですね。イエス様って、知れば知るほど素晴らしいお方。もっと近づきたくなるし、本当のしあわせをくださるんですよ。もっと知りたいですね、イエス様のこと！

祈り 天のお父様、イエス様のことをもっと知りたいです。もっとイエス様に近づくことができますように。

6月14日(月)

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・12~13
私は、兄弟テトスに会えなかったの
で、心に安らぎがありませんでした。 13節

イエス様のことを人々に伝えることが、いちばんしあわせだったパウロ。でも、なんだか元気がありません。コリントの教会で働いていたテトスから教会の様子を聞いたかっただのに、会えなかったのです。パウロは不安でいっぱいのまま、マケドニヤに出かけて行きました。

パウロは自分のことを考えて不安だったのではありません。コリント教会の人々を心配して、いつもお祈りしていたからなのです。自分より、愛する人々を思って祈るパウロ。素晴らしいキリストの香りを放つ人のすがたです。

祈り 天のお父様、わたしが自分のことだけでなく、わたしの周りにいる人々のために祈る人にならせてください。

6月15日(火)

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・12~14
しかし、神に感謝します。神はいつでも、私たちをキリストによる凱旋の行列に加え、 14節

パウロはつづけて言います、「不安でいっぱいだったけど感謝します」って。「キリストによる凱旋の行列に加え」というのは、どんなときだって、神様は優勝パレードをするみたいに勝利させてくれる！ ということ。つらい時も不安な時も、神様は勝利させてくれるんです。

神様はつらいことも感謝にかえてくださる、すごいお方ですよ。あなたが「もうダメだ～」と思うことがあっても、神様にとってはダメじゃない。必ずよろこびや感謝をくださいます。いつも勝利の人生です！

祈り 天のお父様、わたしがつらいときにも、あなたが、かならず勝利をあたえてくださることを信じます。

6月16日(水)

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・12~14

私たちを通してキリストを知る知識の香りを、いたるところで放ってください。 14節

わたしたちに勝利をくださる神様。それだけでなく、わたしたちをとおして、「キリストを知る知識の香り」を放ってください、とパウロは言います。イエス様って、どんなお方か？ どんなことをして下さるお方か？ あなたをとおして、人々に伝わっていくんですって。それはまるで、香りのようにひろがっていくんですって！

イエス様のすばらしさを伝える、すてきな香りとなって、用いられますね。こんなすてきな香りはどこにもない！

いの祈り 天のお父様、わたしが「キリストを知る知識の香り」となって、イエス様のすばらしさを伝えられますように。

6月17日(木)

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・15~16

私たちは、救われる人々の中でも、滅びる人々の中でも、神に献げられた芳しいキリストの香りなのです。 15節

わたしたちがイエス様のことを伝えて、信じてくれる人がいるとうれしいですね！ でも、なかなか信じてくれない人もいます。そういうときは、なんだか悲しくなってしまう。

でも、落ちこまないで。あなたがイエス様を伝える時、神様がどんなによるこんでおられるか、思い出してください。人に反対されても、神様にとっては、あなたはすばらしいキリストの香り。人がどう思うかではなく、神様がどう思うかを考えると、元気がわいてくるんです！

いの祈り 天のお父様、神様が喜ばれることだけを考えていきます。キリストの香りとして、あきらめずに伝えたいです。

6月18日(金)

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・15~16

このような務めにふさわしい人は、いったいだれでしょうか。 16節

パウロは、イエス様をお伝えする時はいつも真剣そのものでした。だって、信じる人には永遠の命があたえられて天国に行けるけど、もし信じなかったら、永遠の滅びにむかって行ってしまいますから！ イエス様を伝える、ということは責任重大なのです。パウロは、「わたしには、こんな大切な働きはふさわしくない…」と思うほど、重い責任を感じていたのです。

パウロの真剣なすがたに、ならいたいですね。イエス様のことを伝えるときは、いつだって真剣にお祈りして、本気で伝えないと。

いの祈り 天のお父様、わたしもパウロのように、真剣にイエス様のことをお伝えしていきます。

6月19日(土)

聖書
聖句

Ⅱコリント 2・17

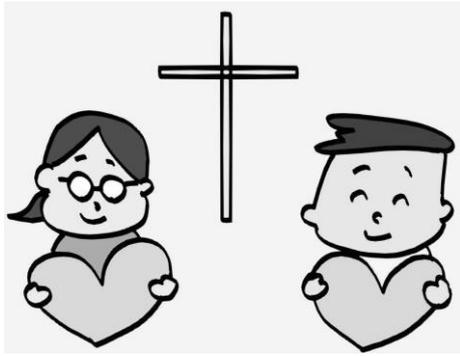
神から遣わされた者として、神の御前でキリストにあって語るのです。 17節

永遠の命か、永遠の滅びかが決まってしまう重大な働きだからこそ！ パウロは誠実にイエス様をお伝えしました。人の考えや人のつごうのよいことは語らず、みことばをまっすぐに語りました。

これからも、毎日少しずつみことばを読んで、みことばを覚えてください。みことばから、神様のみこころを覚えていただけてください。そうすれば、あなたもみことばをまっすぐに伝えられるようになります。キリストの香りとなって、パウロのあとにつづこう！

いの祈り 天のお父様、キリストの香りとして、わたしが、あなたのみことばをまっすぐに語る事ができますように。

ちち ひ
父の日



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 7・7~12
天の父への祈り
天におられるあなたがたの父は、ご自分に求める者たちに、良いものを与えてくださらないことがあるでしょうか。 マタイ 7・11

目標

神は、祈りに答えて良いものをくださる天の父であることを知る。

6月20日(日)

聖書
聖句

マタイ 7・7~12
天におられるあなたがたの父は、ご自分に求める者たちに、良いものを与えてくださらないことがあるでしょうか。 11節

今日は「父の日」の礼拝です。「お父さん、ありがとう！」そして「天の父なる神様、ありがとう！」と、心からの感謝をあらわしましょう。今年の父の日メッセージは、『もっともっと天の父に祈ろう!!』ということです。人間の父だって、パンを求める子に石を与えたり、魚を求める子にへびを与えたりしません。良い贈り物しかしないでしょう。天の父なる神様は、もちろん、一番良いものを下さるのです。助け主なる聖霊なる神様ですよ。

いの祈り

天のお父様、肉親の父にはもらえない大切な良いものである聖霊をあなたが与えてくださいますので感謝です。

6月21日(月)

聖書
聖句

マタイ 7・7~8
だれでも、求める者は受け、探す者は見出し、たたく者には開かれます。 8節

さすが、天の父なる神様はすごいと思いませんか？「求めなさい。そうすれば与えられます。」と、大胆にも言うてくださっています。肉親のお父さんと、そんなにガンガン求められても、「ダメだよ、無理だよ、与えられないよ」って、タジタジとなってしまうところでしょう。でも天の父なる神様はちがいますね。『求めなさい！与えられますよ』と仰ってください。この「父の日」から、よーし、いっぱい求めていこうと決心しませんか？

いの祈り

天のお父様、あなたの大胆なお招きを感謝します。すべて求める者は得るとあるのを信じてお祈りしていきます。

6月22日(火)

聖書
聖句

マタイ 7・9~12
ですから、人からしてもらいたいことは何でも、あなたがたも同じように人にしなさい。 12節

私たちは「天の父の子どもたち」ですね。父なる神様は、私たちの祈り、願い、望みを聞いて、そのようにしてあげたいという御思いを持っていらっしゃる。お祈りにこたえてただけで、望みどおりにしていただけたらどんなにうれしいことでしょう！ですから、私たちも、何事でも人々から、ああしてほしいな、こうしてほしいなと望むことがあったとしたら、まずは私の方からそのようにしてあげましょう。この教えを『黄金律』と言うのです。

いの祈り

天のお父様、完全な愛のお方であるあなたにふさわしい『黄金律』を守って、祝福が広げられるとうれしいです。

6月23日(水)



ヤコブ1・5~8

ただし、少しも疑わずに、信じて求めなさい。 6節

イエス様の弟のヤコブさんは、よくお祈りをする人だったみたいです。天の父に祈り求めようとたくさん書いていますよ。まずは、「あなたがたのうちに、知恵に欠けている人がいるなら、その人は、だれでも惜しみなく、とがめることなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば与えられます。」(5)とあります。勉強のこともそうだし、生活のいろんな知恵もですね。「本当に与えられるのかな？」と思わないで！疑わないで、信じて祈り求めていくことですね。

いの祈り 天のお父様、限界のある小さな私の頭であり、能力ですが、信じて祈って、さらに知恵が与えられますように。

6月24日(木)



ヤコブ1・17~18

すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物は、上からのものであり、光を造られた父から下って来るのです。 17節

贈り物ってうれしいでしょう？ クリスマスプレゼントとか、バースデイプレゼントとか。ただ感謝して、もらうだけですものね。天の父、光の父、上にいらっしゃる神様が、その良い贈り物や、完全な賜物、これも同じプレゼントですが、私たちにくださるというのです。すごいと思いませんか?! 私たちは、ただ信じて、お祈りして、求めて、受け取って、感謝します！と言うだけなのです。神様からのものはすべて良い物、完全な物、頂きましょう！

いの祈り 天のお父様、あなたを信じる信仰の世界はなんてすごい、リッチな世界でしょう。光の父なるあなたを信じます。

6月25日(金)



ヤコブ4・1~10

「神は、さらに豊かな恵みを与えてくださる」と。 6節

「自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。」(2)とヤコブは言います。そうか、と思いますね。求めても与えられないのは、自分を楽ませようとして、悪い求め方をするからだともあって、ナルホドと思います。どんな心で、どうお祈りをする人に、神様は良い贈り物をいっぱいくださるのでしょうか。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与える。」(6)とあります。神様は恵みを与えようとしていてくださいます。へりくだって求めよう。

いの祈り 天のお父様、私たちを愛して恵みをますます与えようとしてくださるあなたの前にへりくだって求めていきます。

6月26日(土)

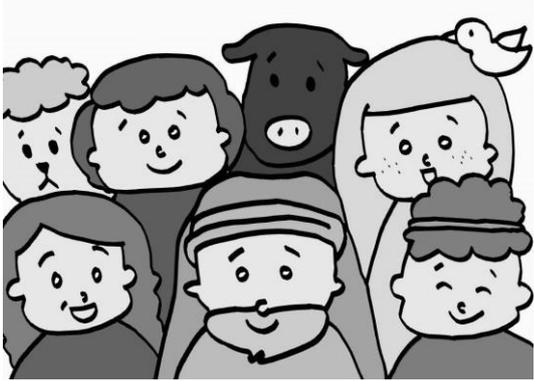


ヤコブ5・13~18

正しい人の祈りは、働くと大きな力があります。 16節

エリヤって、どんな人だったか？ 思い出しますか？ 神様の言葉を頂いて、大胆に信じて語った預言者です。「私のことばによるのであれば、ここ数年の間、露も降らず、雨も降らない」(列王記第一17:1) と言うと、なんと3年6ヶ月、一滴も雨が降りませんでした！ バアルという偶像信者450人と対決して天からの火を呼びくぐりました！ そして、次にはカルメル山の頂上で、祈って祈って、大雨を降らせたのです！ 生きておられる神様を信じて祈ったからでした。エリヤも人間、私も同じ人間！

いの祈り 天のお父様、生きておられるあなたを心底信じて、エリヤのように祈って、あなたのみわざを見たいです。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨブ 1・1~22
ヨブ
主は与え、主は取られる。／主の御名はほむべきかな。

目標

ヨブ 1・21
試練の中でも主の深いみ心をおもい、慈愛を信じて祈る者となる。

6月27日(日)

聖書
聖句

ヨブ 1・1
この人は誠実で直ぐな心を持ち、神を恐れて悪から遠ざかっていた。
1節

今週はヨブという人のお話です。彼が生きた時代、彼が住む東の地方でいちばんのお金持ちでした。子どもは10人、しもべも大勢いました。羊やらくだなど、たくさんの家畜も飼っていました。

そんなお金持ちのヨブですが、お金を使いほうだい、自分かかって生きていたわけではありません。神様を心から信じていて、神様の前で正しく生きる人でした。ヨブほど正しい人は、その時代、ほかにいませんでした。罪を犯すことがないようにしよう！と、いつも神様をおそれ歩いていました。

祈り 天のお父様、ヨブのように、あなたをおそれ歩いていけますように。

6月28日(月)

聖書
聖句

ヨブ 1・1~5
ヨブは彼らを呼び寄せて聖別した。朝早く起きて、彼ら一人ひとりのために、それぞれの全焼のささげ物を献げたのである。
5節

ヨブの子どもたちも、当然お金持ち。息子たちは自分の家がありました。「さあ、ごちそうを作ったから家に食べにきてよ！」「それはいいねえ、じゃあ今度はわたしの家でごちそうを食べよう！」と、兄弟どうして招待したり、されたり、楽しい生活を送っていました。

ヨブはそんな子どもたちを呼び、神様の前に犠牲をささげ、お祈りをしました。「もししたら、子どもたちが罪を犯したかもしれない」と思ったからです。ヨブは、いつも家族のために祈る人でした。

祈り 天のお父様、わたしも、いつも家族のために祈りしていきます。

6月29日(火)

聖書
聖句

ヨブ 1・6~12
では、彼の財産をすべておまえの手に任せる。ただし、彼自身には手を伸ばしてはならない。
12節

正しいヨブに、サタンが目をつけました。サタンがこっそり神様の前に来たとき、神様はサタンに言われました。「ヨブのように悪から遠ざかっている人は、地上にはいない」。するとサタンは言いました、「それはヨブがお金持ちだからですよ。財産がなくなれば、かならず神様の悪口を言いますよ！」

そこまで言うサタンに、神様はヨブの財産を取りさることを許可しました。えっ!?と思うかもしれないけど、あえて神様は、ヨブが試練にあうことをゆるされたのでした。

祈り 天のお父様、ヨブの財産を取りさることは、あなたの深いお考えがあったのだと信じます。

6月30日(水)



ヨブ 1・13~17
私一人だけが逃れて、あなたに知らせに参りました。 15節

サタンは、ヨブの財産や関わる人々にしのびよりしました。ヨブのしもべたちは殺されてしまい、家畜は焼きほろぼされ、盗まれてしまったのです！ヨブのしもべも財産もいっぺんになくなってしまいました！命からがら逃げてきたしもべたちが、そのようすを次々にヨブに話したのでした。ヨブはどんなにショックだったことでしょうか…。

わたしたちは、つらいことがおこると、なかなか受けとめられないですね。神様に愛されていることや、共におられることが頭からポンと飛んでいってしまうんですね。

いの祈り 天のお父様、つらいことがおきたとき、あなたに愛されていること、共におられることを思い出せますように。

7月1日(木)



ヨブ 1・18~21
主は与え、主は取られる。／主の御名はほむべきかな。 21節

つらい試練が次々とおこるヨブに、いちばんつらいことがおきました。大きな風がふいて息子の家がつぶれてしまい、中にいた10人の子どもたちが死んでしまったのです。ヨブは悲しみのどん底につき落とされてしまいました。

しかし、こんな悲しみのなかで彼はこう言ったのです。「わたしはなにも持たないで生まれました。そしてなにも持たずに死にます。すべては主が与えてくださり、主が取りさられます。主のみ名をほめたたえます」。なんとということでしょう！つらい試練の中、ヨブから出てきたことは、神様への賛美だったのです！

いの祈り 天のお父様、わたしはつらいときに賛美ができるでしょうか。ヨブの信仰に少しも近づきたいです。

7月2日(金)



ヨブ 1・22
ヨブはこれらすべてのことにおいても、罪に陥ることなく、神に対して愚痴をこぼすようなことはしなかった。 22節

子どもたちも財産も、いっぺんに失ったヨブ。ふつうなら、あまりにもつらくて、たえられない状況です。しかし、ヨブは神様に文句ひとつ言わず、神様に賛美しました。

サタンは、ヨブがつらい試練にあえば神様の悪口を言い、罪を犯すと思い、ヨブにかかわるすべてのものをうばいました。しかし、その悪だくみは大失敗に終わりました。ヨブの信仰は神様がみとめる本物の信仰でした。その信仰がサタンに勝利したのです！

いの祈り 天のお父様、試練のとき、わたしが罪をおかさないように、サタンに勝利できるようにお守りください。

7月3日(土)



ヨブ 1・1~22
主は与え、主は取られる。／主の御名はほむべきかな。 21節

わたしたちは、つらい試練のとき、「神様どうして？」と文句ばかり言ってしまうがち。でもヨブは、「神様がなさることは、まちがいはない」と心から信じていたのです。ものすごい、神様への信頼があったんです。

ヨブのように、いつも神様との時間をもってください。そうすると神様の愛がわかって、ますます信頼できるようになります。良いときもつらい試練のときも、いつも神様はわたしを愛してくれている、神様にまちがいはない！と心から信じて祈っていきたいですね。

いの祈り 天のお父様、あなたはどんな時もわたしを愛してくださっています。試練の時も、あなたを信頼して祈っていきます。